西東京市マスコットキャラクター着ぐるみ使用マニュアル

１　事前確認事項

着ぐるみを使用する前には、以下の３点の基本事項を了解の上、本マニュアルの内容を必ず確認してください。

ア）着ぐるみの貸出期間中の、着ぐるみの汚損・破損・盗難等の着ぐるみが受けた被害については、故意か否かに関わらず、全て借受者の責任において賠償等をしていただき、市は一切のその責を追いませんので、着ぐるみの管理には十分注意し、大切に取扱ってください。

イ）着ぐるみを使用したことによる、装演者の事故や、着ぐるみにより第三者に与えた事故など、着ぐるみの使用を起因とする事故については、故意か否かに関わらずその責任は借受者にあります。賠償等は借受者において対応していただき、市はその責を一切負いませんので、着ぐるみの使用に当っては、事故を起こさぬよう十分注意して使用してください。

ウ）「いこいーな」は、いこいの森の妖精です。着ぐるみに入った瞬間から、「いこいーな」になりきり、装演者はもちろん、装演者をサポートするアテンダントも装演者＝「いこいーな」として演じてください。決して「いこいーな」のイメージを崩すことのないようにしてください。

人員体制

■装演者及びアテンダントは、必ず当マニュアルを熟知しておきましょう。そのために、本マニュアルの説明会を必ず開催してください。

■装演者は、満１５歳以上（中学生を除く）満５０歳未満の、身長 160 ㎝以下で肩幅 40ｃｍ以下、前腕の太さが 27ｃｍ以下の一定の体力がある者２人以上で順次交替していく体制をとってください。ただし、１８歳未満の者については、予め保護者の承諾を得てください。保護者の承諾をえる際は必ず本マニュアルを用いて、着ぐるみに入る注意点を十分に保護者及び本人に説明してください。

■連続可動時間は、基本１５分程度を上限とし、必ず休憩を取り、十分に水分補給をとってください。休憩時間は、装演の都度、装演時間の２倍以上の時間を確保してください。

■アテンダンドは必ず３名以上つけ、アテンダンドは着ぐるみが周囲の器物やお客さんなどにぶつかったり、転んでケガ等しないように常に注意を払ってください。特に、着ぐるみを装着して移動の際は、前方の安全を確保する露払いの役目と、装着者を誘導する役目、左右、後方から不意打ちを防ぐ役目の方が必要となりますので、十分に人員を確保してください。

■初めて着ぐるみを着用する際は、出来るだけ早く、遅くても使用する日の前日までには着ぐるみを試着して、視界、動き等に慣れたうえで本番に臨みましょう。

■着ぐるみは皆さんが想像している以上に動きづらく、暑いものです。イベントなどにおいては、演出等について司会者等と十分に打合せを行い、無理のないようにしましょう。特に初めて着ぐるみを使用する際は、試着をしてから打合せを行い、装着者の安全に配慮しましょう。

■着ぐるみは想像以上に視界が悪いものです。夜間はもちろん、明け方や夕方の暗い時間の屋外活動は禁止です。同様に、室内であっても暗い場所での活動は禁止です。

控室の確保

■控室は、着替えることのできる十分なスペースがあり、着ぐるみを広げることのできる目隠しのあるテント等を用意してください。
※通常の部屋の扉（約 80～90 ㎝）では着ぐるみ頭部（高さ 120 ㎝×横幅 140 ㎝×奥行き 100㎝）が入らないので、場所の確保や、移動経路には注意が必要です。

■外部から覗かれることがないように留意してください。

■控室は関係者以外立ち入り禁止区域内に設けてください。

運搬車両等の確保

■着ぐるみ〔頭部:高さ 120 ㎝×横幅 140 ㎝×奥行き 100㎝・ボディ:高さ 130 ㎝×横幅 70 ㎝×奥行き 70㎝・花・手袋（上着）・ズボン・靴の６パーツから構成〕を積載できる車両及び２人以上の運搬人員を準備してください。
また、大変傷つき易いので、無理に押し込めたり、圧迫を加えてはいけません。
※セダンタイプの乗用車や、軽自動車では運べません。

２　着ぐるみに入るにあたって

■着ぐるみに無理な力がかかると破損するおそれがあるので、使用の際は丁寧に取り扱ってください。
着ぐるみが破損した場合には西東京市が指定する業者にて、借受者の責任と負担において修繕していただきます。なお**着ぐるみの作成には約 100 万円かかっていますので、破損状況がひどく再作成となった場合には、借受者の費用負担が 100 万円程度に及ぶものと認識して、大切に扱ってください。**

■着ぐるみは装演者の身長が 160㎝ 以下で設計されているので、大柄な人は適していません。装演者は、初めて着ぐるみを着用する際は、使用する日の前日以前に着ぐるみを試着して、視界、動き等に慣れたうえで本番に臨んでくださ い。**なお体格が適した装演者用意できない場合には貸出し承諾を取り消します。**

■着ぐるみは構造や素材の関係で動きが制限されるため、装演者は周囲の状況に十分注意して危険のないようにしてください。

■着ぐるみを着て演技するというのは、大変汗をかくものです。汗は放っておくとシミになり、カビや雑菌の繁殖原因にもなります。その汗が着ぐるみに浸み込むのを最小限に抑えるため、下記のようなものを必ず用意してください。

・頭：メッシュの水泳帽、バンダナ、手ぬぐいなどを頭に巻く。長い髪はゴムでまとめ、手ぬぐい等で髪がたれてこないようにまとめる。
・顔：眼鏡は使用せず、裸眼かコンタクトを使用する。やむを得ず眼鏡を使用するときは、曇り止め、眼鏡バンドをする。
・体：夏（上：Ｔシャツ、下：短パンまたはハーフパンツ、スパッツ、レギンス）
　　冬（上：長Ｔシャツ、下：短パンまたはハーフパンツ）
・足：出来れば長めの靴下（５本指用ソックスが踏張りが利きお勧め）を着用。

注意事項

■眼鏡、ピアス、アクセサリーは外す。
■化粧はとる。
■前日の睡眠不足、二日酔いなどは厳禁。
■必ず適度なストレッチなどの準備運動をする。
■気（室）温が 30 度以上ある場合は、使用を見合わせること。
■夏場は特に水分補給を十分にとり、熱中症・脱水症状に十分注意すること。
■喫煙は厳禁。
■雨天・降雪・強風等の天候時については、屋外使用は厳禁。
■泥の上では直に使用しない。（使用する場合はシート等を敷くこと。）
■素材上、汚れが付きやすく、また落ちにくいことに留意すること。

３　装演時の注意点（中に入る人向け）

動　き

■動きはオーバーアクション気味に動く。
⇒着ぐるみは手が短いので、意識的に大きく動かさないと見ている側には着ぐるみの動きが小さく見える。

■小さな子どもとの握手は、できるだけしゃがんで行う。
⇒子どもは大きな着ぐるみに見下ろされる感覚になり、恐怖心を抱くことがある。

■イメージダウンにつながる行為は厳禁。たすきやマント、鉢巻をかけたり、手に棒や旗などを持たせる行為は、キャラクターイメージを損なう恐れがあるので、おやめください。

発　声

■演技中や移動中に声を発することは厳禁。（特にアテンダントとの雑談は厳禁）
⇒キャラクターイメージを壊さないため。

■装演者の感情は表に出さない。
⇒不都合な事態はアテンダントに対応してもらう。

■アテンダントとの間に「緊急事態」「トイレ」を知らせるサインを決めておく。
⇒周囲の人から殴る蹴るなどの行為を受けた際もアテンダントへのサインで対処する。

移　動

■進行スピード・方向については、アテンダントの指示に必ず従う。
⇒着ぐるみのサイズが大きく、視界が狭いため、目の届かない部分はアテンダントの指示により把握する。

■走る行為は厳禁。
⇒事故につながる可能性があります。

環　境

■必ず一定の時間を守り装演する。基本は１５分ごとに一度休憩をとること。１回あたり着ぐるみの装着時間の２倍程度の休憩をとることをお勧めします。

■無理・無茶な行動は絶対にしない。
⇒気（室）温が 30 度以上ある場合は、使用を見合わせてください。特に好天時の装演は時間を調整し、水分補給は必ず行ってください。保冷剤での体の冷却も効果的です。着ぐるみの内部は風通しが悪く、想像以上に暑いので、冬場や空調の効いた室内であっても熱中症対策は十分に行なってください。

■引火の危険があるので、火気のそばには絶対に近寄らない。
⇒喫煙は厳禁。

■雨天・雪・強風の日には屋外に出さない。
⇒着ぐるみの足は大変滑りやすいので、転倒する危険や修復不可能な汚れになる場合があります。

■着ぐるみは、造りの関係から、長い距離を歩く、階段・段差を越えることは難しいので注意が必要です。

４　装演時の注意点（アテンダント向け）

位　置

■着ぐるみと「付かず離れず」を心がけ、有事の際にすぐ対応できる距離にいる。

■必ず着ぐるみの斜め前あたりから先導し、必要なときは手を添えて着ぐるみの歩行を補助します。このとき手を引っ張る感じになると着ぐるみを着用して視界の狭くなっている装演者は不安になるので、気をつけてください。
⇒進行方向や人、障害物の存在を確認し、装演者に伝えるため。子どもなどの突進は必ず止める。
■アテンダントは３人以上付け、前後と脇に分かれる。

⇒着ぐるみが振り返るときなど、後方は特に危険です。

声かけ

■脇につくアテンダントは、ポイントポイントで必ず状況を装演者へ知らせてあげてください。

■握手・写真撮影は、必ず正面から「いこいーな」にオーダーするようにしてください。
⇒この際声かけは、装演者個人にではなく、マスコットキャラクター「いこいーな」へ親しげに声をかける。
例：「いこいーな、お友達が握手したいそうよ！」
「いこいーな、前に段差があるから気をつけてね！」

■控室外で、装演者と無駄話をしない。

対　応

■周囲の状況に絶えず気を配る。
⇒「いこいーな」は横、後方が見えないので、声かけにより周囲の状況を知らせてあげる。

■装演者の様子に気を配り、無理をさせないようにする。
⇒出演時間はあらかじめ決めておき、時間管理の上、切り上げるタイミングも考えておく。延長は避ける。

■着ぐるみに危害を加える人には、毅然とした態度で注意する。

■お客さんからの「入ってるの、男？女？」の質問へは、「いこいーなは、いこいーなですよ！」とにこやかに一言だけ答える。
⇒いこいーなのイメージを守るため、装演者が誰かということについて答えることは厳禁。

■握手や写真撮影の際、人の整理を行う。

※アテンダンドも事前に着ぐるみの頭部だけを試着して、着ぐるみの視界を体験し、アテンダントの際の参考としておくこと。

５　取扱い・片付け・管理

劣化等を少しでも食い止めるために、持運び・保管等を丁寧に行い、転がす、引きずるような乱暴な扱いはせず、限度以上の動きはしないこと。かび等を防ぐため、着ぐるみ取扱説明書による片付け方で保管し、返却すること。

また、破損したり汚れた場合には、必ず西東京市企画政策課（042-460-9800 直通　月～金 8：30～17：15　土日祝日休み）まで連絡をすること。（破損や汚れ等が生じた場合は、指定の専門業者でクリーニング・修理補修を行い、原状に復した状態にして返却してもらいます。）**破損状況がひどく再作成となった場合には費用負担が 100 万円程度に及ぶものと認識して、大切に扱ってください。**

頭部・ボディ・手袋・ズボン

■内側の汗などはきれいなタオル等で拭き取り、内部に消臭・殺菌スプレーを吹きかけ、風通しの良い所で陰干し、よく乾かし、また表面の汚れは、軽く手で叩くか、固く絞ったきれいなタオルで軽く拭いてから付属の袋にいれ返却願います。また、**乾燥機等は絶対に使用しないでください。**

６　運搬と保管

■運搬時は必ず袋に入れた状態で、頭部、ボディ等２人以上の人員を確保し、慎重に取り扱ってください。

■車両での移動の際は、車内で着ぐるみが揺れ破損等することのないよう柔らかいものなどで固定し取り扱ってください。

■使用しない時間帯の保管場所は、必ず屋内にしてください。鍵付の部屋を用意するか、見張りを貼り付けてください。自動車内や屋外での保管はしないでください。

■その他、運搬・返却・保管等については西東京市企画政策課の指導に従い行ってください。